

3つのレベルの日本語学習とは —「生活日本語」、「学習日本語」、「受験日本語」—

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)最近、介護や医療関係の仕事に外国人の方をお招きして、日本で活躍していただくというお話がたくさんあります。また、日本に留学される方もたくさんいらっしゃいます。そこで今日は、外国人の方にとって日本語学習にはどのようなレベルがあるのかというお話をさせていただきます。もしかしたら、日本人が英語や外国語を勉強する場合にも参考になるのではないかと思いますので、是非、お聴き下さい。

2. 3つのレベルの日本語学習とは—「生活日本語」、「学習日本語」、「受験日本語」—

- (1)外国人の方が日本に来られて一番困ってしまうことは、日本語と日本の事情です。現在の日本は少子化で、生まれる子どもの数が少なくなって日本全体の人口がどんどん少なくなっていく心配があります。これを解決する一つの方法として、外国人の方に日本に来ていただいて活躍していただく、最終的には日本の国民になっていただいて一緒に生活・活動をして人生を終えていただくことも大事だと思います。そのときに一番大事になるのは、先ほどお話した日本の事情の理解と日本語教育のプログラムがしっかりとしていることだと思います。
- (2)このことを踏まえて、今日は日本語にはどのようなレベルがあるのかをお話させていただきます。一番基本的なのは「生活日本語」といいますか、「日常生活に困らないだけの日本語」だと思います。買い物に行ったり、電車に乗ったり、バスに乗ったり、車に乗ったりなど、朝起きてから夜寝るまでの日常生活に困らない生活日本語だと思います。例えば、車を運転するのは大変ですが、せめて乗せていただくことができるようにするなど普通の生活をするときに必要な日本語のレベルがあると思います。これが「生活日本語」です。
- (3)もう少し難しい日本語には、学校に行き、学習できるレベルの日本語、「学習日本語」があります。子どもたちが学校に行く場合、あるいは一定の資格を取るために学校に行く場合など様々な形がありますが、学校の授業が受けられるレベルの日本語が二番目に大事だと思います。教科書を読むことができるか、学校の先生のお話を聞くことができるか、もう少し難しいのは、学校の先生がお話していることをメモに取れるか・ノートに取れるかです。黒板に書いてあることを写すことも難しいでしょうが、それよりは、学校の先生が授業で話している内容を聞き取ってメモすることのほうがものすごく難しいです。それから、ノートに取ったものを整理したり、もう一度勉強したりして、学校で勉強したことを自分なりに理解することも必要ですが、これは一層難しいです。これが「学習日本語」だと思います。このように、日本語のレベルには一番基礎的な「生活日本語」と、もうちょっと難しい二番目のレベルには「学習日本語」があると私は考え

ます。

この「学習日本語」には学校で行われる定期テストや豆テストなどのテストが受けられるレベルの日本語も含まれます。テストは学校の授業がよく理解できたかどうかの結果を評価されるものですが、このテストが受けられるだけの日本語、これも「学習日本語」に含まれます。このレベルまでいきますと、日本での学校教育を卒業すること、修了することができます。

(4)ただ、日本語のレベルはその先にもあります。それは入学試験や国家試験に合格できるレベルの日本語です。その中には高校入試に合格できるレベルの日本語も入ります。これは学校の授業やテストよりも遥かに難しく、また、ちょっと違った難しい日本語です。さらに難しいのは、大学入試に合格できるレベルの日本語です。私の知り合いの留学生の方には、宇都宮大学を受けるのに何年も勉強して、無事合格して、大学生活を送っている方もいらっしゃいます。日本人ですと1回か2回試験を受けて合格する方が多いのですが、外国人の方はなかなか大変で、5回も6回も受験して無事宇都宮大学に合格した方もいらっしゃいます。このように、入学試験や国家試験に合格できるレベルの日本語はとても難しい日本語だと思います。また、就職をするときに就職試験が受けられるレベルの日本語は、それ以上に難しいと思います。就職試験のときには、色々なことを述べたり自分の考えを述べたりして仕事ができるかどうかを試されるわけですが、それに対応できるようにするにはさらに難しい日本語が必要だと思います。

(5)このように、日本語のレベルには、一番目に生活するのに必要な日本語(生活日本語)があります。二番目に学校の授業が受けられるレベルの日本語(学習日本語)、これには学校の定期テストが受けられるレベルの日本語が含まれます。ここまで身に付けば、学校が卒業できるわけです。それからもうちょっと難しいのが、高校入試や大学入試などの入学試験や国家試験に合格できるレベルの「受験日本語」です。「受験日本語」には、さらに難しい就活日本語といいますが、学校を卒業して就職するときに就職試験が受けられて、就職試験に合格できるレベルの日本語も含まれます。就労や留学などのために日本に来られた外国人の方に必要な日本語には、この3つのレベルの日本語があると私は考えます。

3. おわりに

(1)私たち日本人が逆に英語を身に付ける立場になったらどうかと考えればよくわかりますが、この3つのレベルの日本語を勉強するには一つ一つをしっかりと勉強しなければいけません。ですから、外国人の方に日本に来て活躍していただきたいということでしたら、栃木県や群馬県、茨城県内の一つ一つの市や町が、「生活日本語」、定期テストが受けられるレベルの日本語を含む「学習日本語」、高校入試や大学入試に合格できるレベルの日本語、就活、さらには国家試験に合格できるレベルの「受験日本語」に対応できる教育のシステムを組んで、しっかりと日本語教育を支えることが大事だと思います。これができますと、外国人の方に日本の地元の街に住み着いていただき、日本語で活躍していただけると思います。

(2)外国人の方が日本語をしっかりと勉強できるような環境を整えることが住みやすい居住環境を整える街づくりの第一歩となります。日本の自治体も他の国と同様、自らの力で国際競争力を身に付けなければ存立できません。3つのレベルの日本語教育はその最低条件と言えます。一日も早く是非このようなことも皆さん自身で考えて、実際に取り組んでいくとよいと思います。私は、すべての学校で3つのレベル対応できる日本語の素晴らしい講座を作っただけであれば一番いいなと思います。